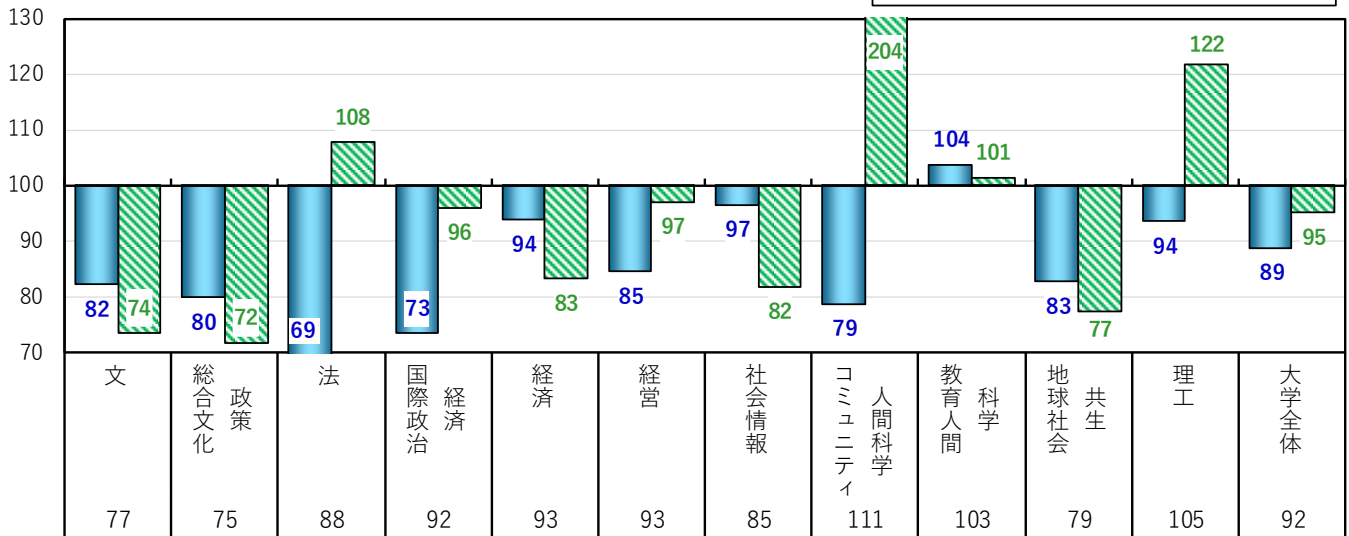


青山学院大：入試改革 3 年目、前年度の反動で減少

一般：-2,764 人 共テ：-1,127 人

※前年度の志願者数を100とする指数
 ※学部名の下の数値は学部全体の指数



主な入試変更点

選抜方法：共テ利用方式(6科目型)新設
 共テ利用方式(5科目型)新設
 共テ利用方式(4科目型)新設
 共テ利用方式(4科目A型)新設
 共テ利用方式(4科目B型)新設
 入試科目：法<共テ・3科目型>…国+外+(歴公 or 数① or 数② or 理)
 ※歴公：世A or 世B or 日A or 日B or 地理A or 地理B or 現 or 倫 or 政経 or 倫政
 →国+外+(歴公 or 数① or 数② or 理・理基2)
 ※歴公：世B or 日B or 地理B or 現 or 倫 or 政経 or 倫政
 地球社会共生<共テ併用>…<共テ>国+外+(歴公 or 数① or 数②)→<共テ>外+(国 or 歴公 or 数① or 数②)
 理工(化学・生命科学、物理科学除く)<共テ併用・個別B>…<共テ>数2+理+外 ※理：物 or 化→<共テ>外
 (化学・生命科学)<共テ併用・個別B>…<共テ>数2+理+外 ※理：化→<共テ>外
 (物理科学)<共テ併用・個別B>…<共テ>数2+理+外 ※理：物→<共テ>外
 配点変更：文(英米文)<一般・個別B>…外<200>+総合問題<200>=総点<400>→外<200>+総合問題<100>=総点<300>
 地球社会共生<共テ併用>…<個別>論述<100>→論述<120>
 理工(化学・生命科学、物理科学除く)<共テ併用・個別B>…<個別>数<140>+理<140> ※理：物 or 化
 →<個別>数<200>+理<200> ※理：物 or 化
 (化学・生命科学)<共テ併用・個別B>…<個別>数<140>+理<140> ※理：化
 →<個別>数<200>+理<200> ※理：化
 (物理科学)<共テ併用・個別B>…<個別>数<140>+理<140> ※理：物
 →<個別>数<200>+理<200> ※理：物

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、3,891人(92)の減少。2021年度からそれまでの一般方式・個別学部日程を経済と理工<個別A>を除いて、共通テスト併用方式に変更したが、その周知が前年度は進んだことで大幅増加だった反動が見られた。学部別では、コミュニティ人間科学(111)は増加、理工(105)、教育人間科学(103)はやや増加だったが、これらを除く8学部は減少。特に、総合文化政策(75)、文(77)、社会情報(85)は大幅減少。方式別では、一般方式が2,764人(89)の減少、共通テスト利用方式が1,127人(95)のやや減少。共通テスト利用方式では、以前から実施されてきた<共テ>が878人(92)の減少、実施3年目の<共テ併用>が249人(98)の微減だった。

<一般方式>

- 文(82)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。志願者数は再び2,000人を下回った。学科別では、(比較芸術)(145)、(史)(134)、(日本文)(133)の3学科はいずれも大幅増加で2年連続増加。一方で、(フランス文)(40)は前年度約2.8倍の激増の反動で激減。(英米文)(77)も前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 総合文化政策(80)は、<全学部>のみの募集だが、大幅減少で2年連続減少。<全学部>の志願者数は5年ぶりの700人台。
- 法(69)は、<全学部>のみの募集だが、前年度約2.4倍の激増の反動で大幅減少。学科別では、(法)(83)は前年度激増の反動

で大幅減少。新設 2 年目の(ヒューマンライツ)(39)は前年度志願倍率 29.7 倍の高倍率だった反動で激減。

- 国際政治経済(73)**は、<全学部>のみの募集だが、前年度大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、3 学科いずれも 25%以上の大幅減少。
- 経済(94)**は、2 年連続増加の反動でやや減少。学科別では、(経済)(99)は前年度やや減少の反動はなく前年度並。(現代経済デザイン)(76)は 3 年連続増加の反動で大幅減少。
- 経営(85)**は、<全学部>のみの募集だが、前年度倍増近かった反動で大幅減少。<全学部>は 2019 年度以降、前年度の反動による増減が継続。学科別では、(経営)(71)は前年度倍増の反動で大幅減少。一方で、(マーケティング)(112)は前年度激増に引き続き増加。
- 社会情報(97)**は、<全学部>のみの募集だが、前年度大幅増加の反動は小さくやや減少。方式別では、文系型の<全学部 A>(114)は前年度の大幅増加に引き続き増加。一方で、理系型の<全学部 B>(71)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- コミュニティ人間科学(79)**は、<全学部>のみの募集だが、前年度倍増以上だった反動で大幅減少。<全学部>は新設 2 年目の 2020 年度以降、初めて減少。
- 教育人間科学(104)**は、<全学部>のみの募集だが、前年度減少の反動は小さくやや増加。学科別では、(教育)(113)は前年度大幅減少の反動で増加。一方で、(心理)(90)は 2 年連続増加の反動で減少。
- 地球社会共生(83)**は、<全学部>のみの募集だが、前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 理工(94)**は、<個別 A>と<全学部>での募集だが、前年度大幅増加の反動は小さくやや減少。方式別では、<全学部>(86)は前年度大幅増加の反動で減少、<個別 A>(95)は前年度大幅増加の反動は小さくやや減少。学科別では、増加が 3 学科、減少が 4 学科。特に、(機械創造工)(130)、(数理サイエンス)(116)が大幅増加。一方で、(物理科学)(62)、(電気電子工)(78)、(経営システム工)(84)が大幅減少。

<共通テスト利用方式>

- 文(74)**は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。方式別では、実施 3 年目の<共テ併用>(88)は前年度やや増加の反動で減少、<共テ>(57)は前年度激増の反動で大幅減少、新設の<共テ 6 科目型>を除くと(53)でほぼ半減。学科別では、(比較芸術)(95)を除く 4 学科は大幅減少で、特に(フランス文)(50)は半減。
- 総合文化政策(72)**は、大幅減少。方式別では、実施 3 年目の<共テ併用>(71)は大幅減少、<共テ>(71)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、さらに新設の<共テ 5 科目型><共テ 4 科目型>を除くと(62)の 40%近い減少。
- 法(108)**は、増加。方式別では、実施 3 年目の<共テ併用>(82)は大幅減少。<共テ>(143)は大幅増加、新設の<共テ 5 科目型>を除いても(113)の増加。学科別では、(法)(131)は大幅増加、(ヒューマンライツ)(56)は大幅減少と対照的。
- 国際政治経済(96)**は、前年度増加の反動は小さくやや減少。方式別では、実施 3 年目の<共テ併用>(94)は前年度大幅増加の反動は小さくやや減少、<共テ>(98)は微減だが 4 年連続減少。学科別では、(国際経済)(120)は大幅増加、(国際コミュニケーション)(73)は大幅減少、(国際政治)(98)は前年度並。
- 経済(83)**は、<共テ>のみを実施だが、大幅減少。学科別では、(現代経済デザイン)(32)は前年度激増の反動で激減。(経済)(96)はやや減少だが 4 年連続減少。
- 経営(97)**は、前年度増加の反動は小さくやや減少。方式別では、実施 3 年目の<共テ併用>(108)は 2 年連続増加、<共テ>(79)は 2 年連続大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、(マーケティング)(124)は大幅増加で 2 年連続増加、(経営)(87)は減少。
- 社会情報(82)**は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。方式別では、実施 3 年目の<共テ併用>(92)は前年度増加の反動で減少、<共テ>(58)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、さらに新設の<共テ 5 科目型><共テ 4 科目 A 型><共テ 4 科目 B 型>を除くと(35)の激減。
- コミュニティ人間科学(204)**は、前年度大幅減少の反動で倍増以上。方式別では、<共テ併用>(149)は大幅増加、<共テ>(283)はほぼ 3 倍増、新設の<共テ 5 科目型><共テ 4 科目型>を除いても(194)のほぼ倍増。
- 教育人間科学(101)**は、2 年連続で前年度並。方式別では、実施 3 年目の<共テ併用>(82)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、<共テ>(119)は大幅増加で前年度の反動による大幅な増減が継続。学科別では、(教育)(102)、(心理)(100)の 2 学科はいずれも前年度並。
- 地球社会共生(77)**は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。方式別では、実施 3 年目の<共テ併用>(99)は前年度激増の反動はなく前年度並、<共テ>(59)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 理工(122)**は、系統への高い人気もあって、2 年連続大幅増加。方式別では、実施 3 年目の<共テ併用>(148)は大幅増加で 2 年連続増加、<共テ>(109)は前年度大幅増加に引き続き増加。学科別では、(物理科学)(61)が前年度倍増以上の反動で大幅減少だった以外の 6 学科は増加。特に、(機械創造工)(233)は倍増以上、(化学・生命科学)(168)は激増、(経営システム工)(127)、(情報テクノロジー)(116)は大幅増加。